

西尾市立矢田小学校



(写真1：名倉先生師範授業)



(写真2：国語「おおきなかぶ」)

< 8月 >

- ・ 授業名人「名倉裕一先生」から基本的な道徳の授業の進め方についてお話をいただきました。「意見のられつではなく、クラスのみんなが道徳的価値観に基づいて話し合うことが大切である。」という指導をしていただきました。
- ・ 授業名人「杉浦光子先生」から「教員の人間性も大切だが、授業力を磨く方が大切である。そのためには 自己開示 校内研修 自己研修の3つを大切にしたい。」など、とても多くのことを学ぶことができました。

< 9月・10月 >

国語(加藤正弘先生)、国語(杉浦光子先生)、道徳(名倉裕一先生)、音楽(小田紀夫先生)の各授業名人をお招きして授業研究会、師範授業、TTでの指導などで合計14回指導していただきました。

- ・ 国語では低学年の本読みの指導法、動作化、ワークシートへの朱書き、意見をかかわらせるための指導法、単元が終わってからの発展的な取り扱いなど、多くのことを指導していただきました。
- ・ 道徳では、資料の提示の仕方、ワークシートの使い方、主人公の気持ちを考える授業展開など、基本的なことを指導していただきました。また、師範授業で道徳的価値観を深めさせる意見交流の仕方を示唆していただきました。
- ・ 音楽では学級の実態をとらえることの重要性、指導案を書くときに子ども一人ずつに視点を置き支援の方法を書いていくことの重要性を指導していただきました。